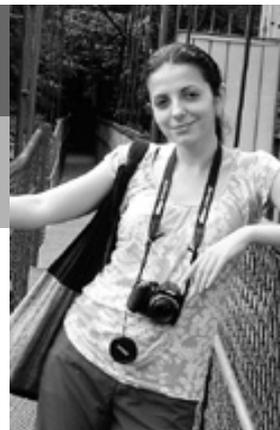


エステイの 国際交流コーナー



《 石垣島トライアスロン大会 》



皆さんこんにちは！

今年も長い夏ががやってきますが、私にとっては八百津町の国際交流員として残ったわずかの2ヶ月はとても短く感じます。

ところで、皆さんはゴールデンウィークを楽しみましたか？私は今年とても珍しい体験をしました。八百津から遠く離れた沖縄県の石垣島では毎年トライアスロン大会が行われています。アマチュア選手大会も世界中のエリート選手も参加するこの大会のために「ボランティア通訳プログラム」が開始されました。英語を話せる地元住民、そして全国からの国際交流員はトライアスロンに参加する外国人選手を手伝い、大会の規則や手続き等を通訳するというプログラムです。今年は私もそれに参加するために沖縄に行きました。全国から国際交流員 11 人が集まって、トライアスロンを手伝う期間の間石垣島の市民の家でホームステイしました。私は海のそばに住んでいる家庭に泊まりました。八百津町も、その前留学していました京都も、イスラエルの大学時代のエルサレム市も海から遠いので、とても懐かしい感じでした。暇な時によく海岸へ行きましたが、春の天気が変わりやすく、涼しい日が多かったです。

通訳の仕事というのはまずは選手たちを石垣空港で出迎え、ホテルのチェックインを手伝い、次の日は日本トライアスロン連合の説明会で通訳、そして大会の日、医療テントで必要により対応することでした。私はヘブライ語とロシア語が話せますので、イスラエルの一人の選手、そしてロシアからの四人のチームへの対応をしました。トライアスロンに関する経験が全くなく、その「スイム・バイク・ラン」の順番も知らなかった私はこのスポーツについて、そしてプロスポーツイベントの組織についていろいろ勉強になりました。

ついにそのロシアチームの一人は男子の大会で優勝しました。それで私の仕事はかなり面白くなりました。まずは沖縄テレビや新聞記者との優勝者のインタビューの通訳をして、後は隣のホテルで薬物使用検査の面接も通訳しました。私の日本語が不十分だと思ったときもありましたが、結局選手たちは自分の母国語で話ができることだけでも嬉しかったそうです。

そして大会の翌日にロシアチームと一緒に石垣島の小学校を訪ねました。石垣市の郊外にあったその小学校は緑が多くて、子供たちの人数がかなり少ない点で私が訪問した八百津町の小学校とよく似ていました。選手たちは子供たちと遊んで、トライアスロンについての質問に答えました。いつもとても忙しくて、厳しいプロ選手の生活をしているのを見るのが本当に感動的な体験でした。

トライアスロンが終わってから石垣島、そして隣の竹富島と西表島を観光しました。八重山島はとても美しく、のんびりした心地良いところだと思いました。日本滞在の最後に初めて行けてよかったです！

